

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科		
科目名称	哲学					授業形態		講義		
科目コード	511120	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	長友 泰潤							ICT活用	○	
授業概要	入門編として「哲学」とは何かという問を出発点に、哲学発祥の地である古代ギリシャと周辺地域の古代文明との関わりや、哲学者たちの思想と時代背景について学んでゆく。学生が意欲を持って授業に参加できるように、グループ学習を導入する。タレス・ピュタゴラス・デモクリトスなどの古代哲学者の中から、一人選び、図書館や情報処理室、WIFIの使える場所において、資料研究を行い、パワーポイント作成を作成し、発表する。									
関連する科目	心理学									
授業の方法と進め方	学生が積極的に、授業に参加できるように、グループ学習のシステムを導入する。学生は、与えられたテーマの中から、例えば、タレス・ピュタゴラス・デモクリトスなどの古代哲学者の中から、一人選び、図書館や情報処理室、WIFIの使える場所において、資料研究を行い、パワーポイント作成を作成し、発表する。それらの発表に対して、他の学生も参加した質疑応答を行い、その後、補足説明を行う。									
第1回	まず、グループを作り、テーマとして与えられた、例えば、タレス・ピュタゴラス・デモクリトスなどの古代哲学者の中から、一人選ぶ。図書館や情報処理室、WIFIの使える場所において、資料研究を行い、パワーポイントを作成する準備をする。									
第2回	上記の結果をもとに、テーマを絞り込んでいくとともに、情報処理室やWIFIの使える場所でパワーポイント作成の準備をする。									
第3回	それぞれのグループが選んだテーマが重ならないように調整し、選んだテーマで、パワーポイントを作成する。									
第4回	タレスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第5回	アナクシマンドロスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第6回	アナクシメネスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第7回	ピュタゴラスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第8回	パルメニデスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第9回	クセノファネスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第10回	エレアのゼノンについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第11回	エンペドクレスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第12回	アナクサゴラスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第13回	デモクリトスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第14回	ソクラテスについて、学生がパワーポイントを使って発表し、質疑応答を行う。									
第15回	総括。今までの発表を振り返る。									
授業の達成目標	1. 哲学発祥の地であるギリシャと古代文明の関りや、哲学者達の思想と人物像、時代背景、宗教や自然科学との関係について理解する。 2. 哲学の基本用語について理解する。									
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。／6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。									
授業時間外学習【予習】	1. プレゼンテーションとパワーポイント作成の準備のため、図書館で関連書物を検索・読者し、必要な情報を集める。(60分程度) 2. インターネット情報を活用し、関連する情報・資料を収集し、検討を行う。(30分程度) 3. スライド作成作業を続けながら、プレゼンテーションの内容を充実させていく。(30分程度)									
授業時間外学【復習】	1. 他のグループのプレゼンテーションの内容を検討し、問題点を探る。(60分程度) 2. その検討をもとに、自分たちのプレゼンテーションへのフィードバックを行う。(30分程度)									

課題に対するフィードバック	各グループの発表後、質疑応答の内容に即し、解説と評価を行う。
評価方法・基準	1. プレゼンテーションで作成したスライドの内容 30% 2. プレゼンテーションのやりかた、質疑応答への対応 30% 3. 質疑応答への参加度（質問回数・答弁回数等） 50%
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	必要に応じて資料等を配布する。
備考	